

新しいクリーンセンター

を建設します

市では、平成22年度稼働に向け、新しいクリーンセンターの建設に着手しました。新施設は、自然に優しく、公害対策に配慮した施設となっています。その概要や主な特長は次のとおりです。



新クリーンセンター完成予想図

◆施設の概要◆

- 名称** (仮)日光市クリーンセンター
- 位置** 日光市千本木字白欠前945番地1地内
- 敷地面積** 約48,000㎡
- 処理能力** 24時間当たり135トン(24時間当たり67.5トン×2炉)
- 処理方式** シヤト式ガス化溶融方式
※筒状の炉で、ごみの焼却から焼却灰の溶融までを一体で行う方式です。
- 事業年度** 平成19年度～平成21年度(平成22年3月完成予定)

◆施設の主な特長◆

- 排ガス処理**
ごみを焼却する際に発生するばいじん・硫黄酸化物・窒素酸化物・塩化水素・ダイオキシン類などの排ガス基準値を、国で定める基準値よりも厳しく設定します。また、バグフィルタ(ダイオキシン類や有害ガス、重金属類を高効率で除去)や脱硝装置(窒素酸化物をアンモニアと反応させ、窒素と水に分解し無害化)など最新の公害防止装置を備え、公害対策に万全を期します。
- 焼却灰の有効利用**
焼却灰の減量や無害化を図るため、焼却灰を炉内で溶融し、スラグ(無害なガラス質の粒)にします。スラ

グはアスファルト混合物や道路の路盤材、コンクリート製品の骨材などに利用されます。

余熱の利用
ごみを焼却する際の熱によって発生する蒸気を利用し、発電を行います。発電した電気は施設内で利用します。

排水対策
施設の機器で利用した排水やトイレ・水道などの生活排水は機器で再利用し、施設外には一切排出しない構造です。

臭気対策

建物全体を密閉構造とするだけでなく、収集したごみを貯めておくごみピット内の気圧を下げることで臭気が外に漏れるのを防ぎます。また、ごみピット内の空気を燃焼用の空気として使用し、臭気を高温燃焼させて完全に分解します。

騒音振動対策

機器類を低騒音・低振動型のものにすることで、適切な防音・振動対策を施します。また、すべての機器類を屋内に収納し、外部への騒音・振動を遮断します。

くわしくは

環境課クリーンセンター整備係
☎(21)5152

鬼怒川温泉の新観光施設の名称を募集

市では、鬼怒川温泉街に新たな観光スポットとなる園地やイベント広場などを整備します。これに伴い、2つの施設について、多くの人に親しまれる施設としてふさわしい名称を募集します。

A施設

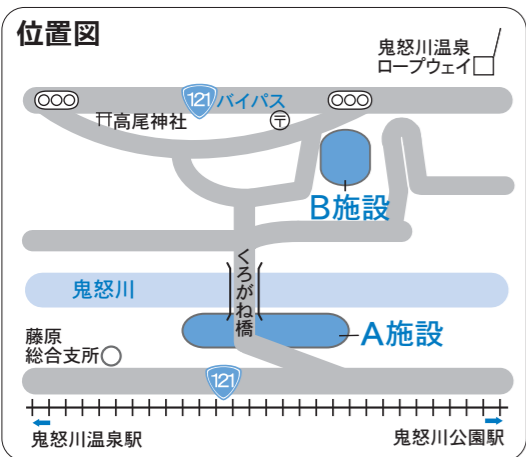
- とことろ** 温泉街中央の鬼怒川沿い(鬼怒川温泉くろがね橋左岸の元水明館跡地)
- 面積** 約4,600㎡
- 施設概要** 足湯や東屋、河川展望台、河川遊歩道を備えた緑地施設

B施設

- とことろ** 温泉街中央の国道121号バイパス沿い(鬼怒川温泉右岸の元徳泉閣跡地)
- 面積** 約3,100㎡
- 施設概要** イベントを開催できる多目的広場や親水施設、ふれあい施設(東屋、トイレなどを備えた施設)

施設

- 選考方法** 11月上旬に開催する選考委員会にて選定
- ※選ばれた名称の著作権などは、日光市に帰属します。**
- 賞品** 採用された方・候補まで残った方に粗品を贈呈
- 応募方法** A施設の名称とその理由



位置図

みんなで守ろう日光杉並木

日光杉並木街道は、総延長37kmに及び、世界一長い並木道で、日本で唯一、国の特別史跡と特別天然記念物に二重指定されている貴重な文化財です。



日光杉並木街道附寄進牌として指定・追加指定された地域

○日光杉並木街道の両側の官民境界からおおむね20mの区域

制限される主な行為

- 建物の新築や増築、改築、撤去
- 工作物の設置や改修、撤去
- 立木竹の伐採
- 土地の形状を変更する行為(掘削や盛土、切土など)

※毎月第3火曜日(祝日の場合その翌日)に、杉並木街道の両側20m内の開発や土地買収に関する杉並木相談を開催しています。くわしくは 生涯学習課文化係

☎(21)5182